

京都・岡崎地域は明治維新後、京都府愛宕（おたぎ）郡・岡崎村と呼ばれていた（京都・岡崎年代史による）。この地域は当時の地図によれば、東は東山山麓より西は加茂川河畔、北は吉田付近から南は栗田口より三条通あたりまで、現在の“岡崎”がつく町名の地域よりはかなり広い場所を占めていたようである。この中には鹿ヶ谷、南禅寺、黒谷、聖護院と、吉田などの一部の地域が含まれる。

この地域とその周辺には、真如堂、黒谷・金戒光明寺、永観堂、南禅寺、吉田神社、岡崎神社、聖護院、熊野神社などの古来から由緒ある寺社が多く存在しており、現在でも多くの参詣者がある。なお平安神宮は後の1894年に平安奠都1100年記念として、上岡崎地区に創設された。

## 岡崎余話（1）：学校事情

1. 1869（明治2）年 この地区の最初の小学校として、上京第32番組小学校が川端丸太町上ルに設立された。その後の1893（明治26）年には、この後身として現在の岡崎丸太町通北側に錦林尋常小学校として新築開校された。
2. 1902（明治35）年 この錦林校東隣に第二錦林小学校（女子のみ）が開校した。1915（大正4）年発行の大典記念京都市街図には、すでに現在の位置に両校が示されている。当時の校区は上記の南禅寺、岡崎、聖護院、吉田、浄土時、鹿ヶ谷などの広い地域を含んでいたようで、これらの地域の小学生の多くはかなりの遠距離を通学していた。1923年、鹿ヶ谷に第三、その後さらに吉田に第四錦林小学校が出来て以後、これらの地域の児童の大部分は最寄りの小学校に通学することとなった。
3. 1911（明治44）年には、聖マリア幼稚園が岡崎広道と現在の丸太町通角に開園され、初めて礼拝堂も建設された。国内最初のキリスト教系幼稚園として現存する。卒園生の多くは上のいくつかの錦林小学校などのほか、京都市内各地の小学校に進んだ。これらの小学生や幼稚園児たちは、付近の平安神宮前の広場や岡崎公園へ体操や運動会などに頻繁に出かけていた。
4. 一方、1897（明治30）年には、東山近衛通に京都府立第一中学校が設立され、府内全域から多くの小学校卒業生を集めた。1929年には左京区下鴨梅の木町へ移転した。1936（昭和11）年にはこの跡地へ前述の第二錦林小学校が移転して来たが、1948（昭和23）年に廃校となった。
5. なお後年ノーベル物理学賞を受章した、湯川秀樹氏（1949）（故人）は上の府立一中、朝永振一郎氏（1965）（故人）は前記の錦林尋常小学校と府立一中の卒業生であった。

## 岡崎余話（2）：戦中と戦後の岡崎

6. 1941（昭和16）年?には岡崎公園内で大相撲・京都巡業場所が開催され、後の横綱・照国らが出場し多くの観客を集めた。この時はまだ戦争直前の平和な時代であった。

7. 1903（明治36）年に開園された京都市動物園では、1940年には209種の動物が飼育されていたが、1944（昭和19）年クマ、ライオン、トラ、ヒョウなど9種14頭が戦時猛獣処分された。終戦時の1945年にはその他の72種が生存していた。

8. 第2次世界大戦中には、1942（昭和17）年頃より、岡崎地区一帯の多くの建物は軍需工場に転換させられた。現在の神宮前大通り西側にあった当時の第二勸業館\*（1913年設立）は内部を改造して木工専門工場となり、現在の美術館\*\*（1933年設立）は内部を空洞化して、ここで多くの木製の練習機を製造していた。これらの工場の管理・運営は当時の鐘紡会社と連携した国際航空が行ない、ここでは終戦までの一時期、勤労働員された相当数の男子中学生が作業させられており、軍の配属将校が絶えず作業の監督に現われ 叱咤督促していた。

なお1909（明治42）年以来 現在の場所にあった京都府立図書館にはこのような改装の記録は残っていない。また現在の都メッセは当時の第二勸業館\*と同じ場所に1996年再建された。

9. 終戦後の1945年、この地域一帯は進駐軍によって接收された。特に美術館は大幅に改修され、内部は兵舎に、東側と南側の日本庭園はテニスコートに変貌した。接收が解除さ京都市に返還されたのは1952年のことであった。

### 岡崎余話（3）市電

10. この岡崎地域には、戦前から戦後のある時期にかけて、南側に蹴上一仁王門、西側に東山通一熊野神社、北側に丸太町通一天王町などの主要道路に京都市電が走っており、この地域の市民の足となっていた。

蹴上線	仁王門一岡崎円勝寺町	一 蹴上	1926年8月	
東山線	熊野神社一（東山通）	一 竹屋町	1913年4月	
東山線	熊野神社一（東山通）	一 百万遍	1928年1月	
丸太町線	熊野神社一（丸太町通）	一 天王町	1930年3月	
白川線	銀閣寺道	一（白川通）	一 天王町	1954年3月
今出川線	百万遍一（今出川通）	一 銀閣寺道	1929年5月	

右の年月はこれらの市電線の開設時期であるが、1945年廃止の仁王門一蹴上線以外は、何れも1976年3月に廃止され、バス輸送に切り替えられた。

参考文献： 京都岡崎魅力づくり推進協議会編：2013 地図で読む京都・岡崎年代史, 33pp.